

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

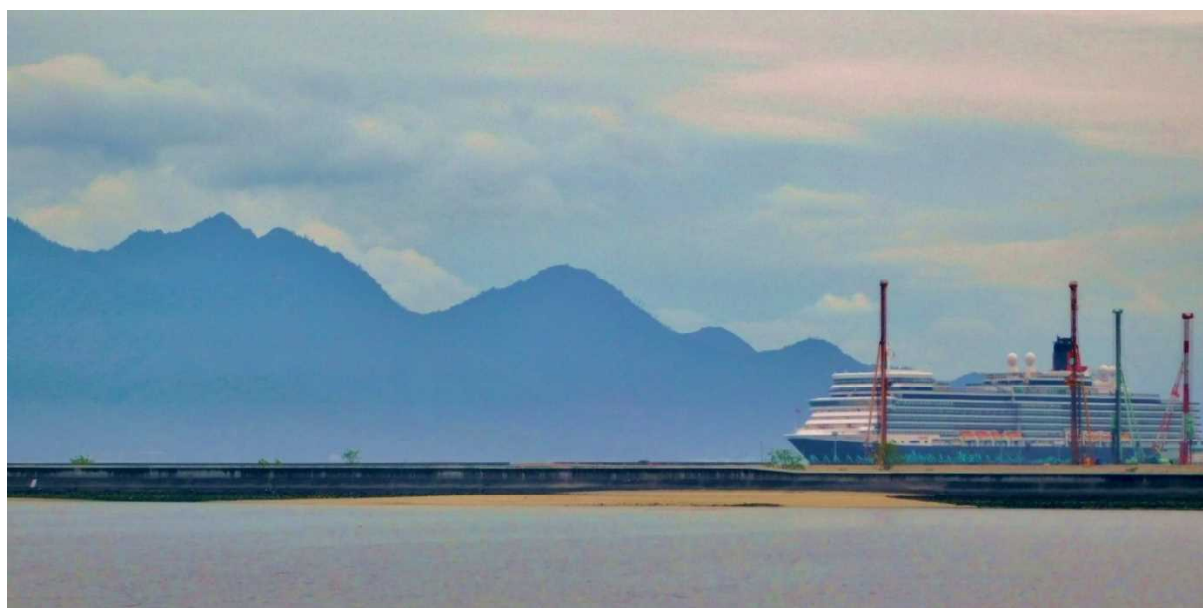
第76号

発行日
令和元年6月1日

◇ 目 次 ◇

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| P1：定期総会～午後：部会打合せ | P15：小なきり海岸の植物・生物調査と海岸清掃 |
| P4：H30年度PV活動記録 | P15：清掃登山（大砂利地蔵） |
| P5：入浜池定点観察④・維持管理作業④ | P16：自主観察会(2)鷹ノ巣高砲台 |
| P7：コバンモチの樹木ネット保全作業（隔年） | 公募観察会（5/25）下見 |
| P9：自主観察会(9)町石調査（大聖院～奥の院） | P17：（交流活動）廿日市市民活動センター |
| P10：鷹ノ巣高砲台跡地清掃・整備作業 | まつり / 編集後記 |
| P12：宮島学園卒業記念植樹作業協力（獅子岩） | P18：事務局連絡事項 |
| P13：自主観察会（1）入浜池補足調査 | （行事参加者一覧・行事予定） |

宮島弥山と「クイーン・エリザベス」



豪華客船「クイーン・エリザベス」が、この春も4月30日に広島港五日市埠頭に入港しました。総トン数9万900トン、全長294m高さ57mの船体は埠頭ではビルのようにあまり近づき過ぎると全容が見えません。この日は前日から大雨も上がり曇り空でしたが、埠頭より少し東の八幡川河口から観音様の寝姿の弥山を背景に豪華客船を眺められます。

停泊はわずか一日、定員2千名余りの乗客は朝からバスを連ねて平成最後の日を宮島観光に向かいます。

（2019. 4.30 岩崎：記）

平成31年度 宮島地区パークボランティアの会総会

日 時：4月13日(土)9:20～11:30

場 所：宮島町杉之浦市民センター

出席者：麻生 猪谷 今田 岩崎 大西 小川 奥田 金山 川崎 北野 黒木 河野 小林(勲)

小林(み) 佐渡 佐藤 島 嶋谷 末原 田中 田内 兎谷 中道 野呂田 平田 檜和田

穂井田 前田 増田 舛田 松尾 松田 三戸 村上 森 山本(章) 横路 吉崎

以上 38 名(委任状提出者を除く)

環境省：山崎自然保護官 大高下 AR



1.開会(司会 岩崎副会長)

開会前に会場玄関横にて全会員の集合写真を撮影した。

9時40分に開会

配布資料の確認のあと、出席者全員が自己紹介を行った。(今回は逆順)

2.開会あいさつ

環境省

山崎自然保護官

昨年末新体制に代わり、今年は活動20年を迎え、楽しみながら、ご都合に合せながら活動に参加してください

大高下 AR

H21.4月から10年活動に係っています。活動を通してときめきの数を増やし、皆さんの生活がより充実できるようにしてゆきましょう。

末原会長

・会員動静：会員番号13川上会員が退会しました。

・セブンイレブンの(樹木名板プレート)助成金申請は不採用になりました。

・会の発足が20年目を迎えました。皆様のご協力と宮島への活動に対する意欲がここ



まで続いた原動力だと思います。

・高齢化が進んでいるので活動内容の見直しを検討して行きたいと思います。
この1年、宜しくお願いします。

3. 総会の成立確認

出席者 38 名、委任状提出者 8 名、合計 46 名で全会員数 48 名の半数以上であり総会成立を確認

4. 議事（議長 末原会長）

次の 5 議案につき会長、各部長、会計から説明・報告があり、異議なく承認された。

議案 1. 顧問の承認について

前会長で 14 年間会長を勤められた
村上光春会員を顧問に推薦

議案 2. 平成 30 年度活動報告について

議案 3. 平成 30 年度決算及び監査報告について

議案 4. 平成 31 年度活動計画（案）について

議案 5. 平成 31 年度予算（案）について

6. その他質問事項

・行事推進委員の参加が体調の関係で難しい場合はどうしたら良いか（全員の割り振りしていますが調整しましょう）

7. 部会会合

8. 総会終了

13 時 15 分終了した。



部会会合



観察部会



環境整備部会



広報部会

（文：麻生 写真：中道（集合）麻生）

H30 年度 PV 活動記録 (平成 30 年 4 月～31 年 3 月)

	開催日	行 事	場 所	参加 会員	備 考
会 合	4/7(土)	平成 29 年度定期総会	杉之浦市民センター	40	
	12/8(土)	臨時総会	宮島市民センター	36	
観 察 部 会	5/12(土)	公募観察会① 自然・歴史	要害山～紅葉谷～大元	21	公募参加者 28 名
	7/25(土)	公募観察会② 自然	鳥居周辺干潟	12	公募参加者 16 名
	11/17(土)	公募観察会③ 自然・歴史	スカイ歩道	18	公募参加者 14 名
	4/7(土)	自主観察会①	小なきり周辺	6	植物生物調査、総会後
	5/5(土)	自主観察会②	要害山～紅葉谷～大元	9	兼公募観察会①下見
	6/2(土)	自主観察会③	岩国城山	17	島外調査
	7/10(火)	自主観察会④	鳥居周辺干潟	9	兼公募観察会②下見
	9/23(日)	自主観察会⑤	野鳥調査、佐伯運動公園	17	秋のハチクマ渡り観察
	11/10(土)	自主観察会⑥	スカイ歩道	12	公募観察会下見
	H31/1/5(土)	自主観察会⑦新春弥山登山	弥山	19	
	H31/2/2(土)	自主観察会⑧野鳥観察	岩国	12	
	H31/3/17(土)	自主観察会⑨	町石調査大聖院～奥の院	10	
	4/7(土)	入浜池補足調査①	入浜池周辺	9	総会後
	5/19(土)	入浜池補足調査②	入浜池周辺	6	
	8/11(土)	入浜池補足調査③	入浜池周辺	5	
	10/6(土)	入浜池補足調査④	入浜池周辺	6	
	7/14(土)	入浜池定点観察②	入浜池周辺	19	
	H31/2/16(土)	入浜池定点観察④	入浜池周辺	18	
環 境 整 備 部 会	4/7(土)	宮島市街地周辺美化清掃	小なきり浜	22	総会後
	4/21(土)	多々良～青海苔清掃登山	多々良～青海苔～大砂利	12	
	6/9(土)	ミヤジマトンボ生息湿地清掃	宮島南西部	16	
	7/21(日)	包ヶ浦海岸清掃活動	包ヶ浦	20	作業終了後懇親会
	7/27(金)	厳島神社前海浜清掃活動	厳島神社前海浜	14	
	8/4(土)	自然公園クリーンデー清掃活動	宮島海浜	13	環境省、廿日市市
	10/20(土)	スカイ歩道整備清掃	スカイ歩道	15	
	10/25(木)	紅葉谷公園歩道補修清掃活動	紅葉谷公園	16	
	11/3(土)	樹木名板維持管理活動(うぐいす・もみじ・あせび各歩道)		19	
	12/19(水)	弥山登山道補修及び清掃活動(獅子岩駅～弥山～大聖院)		17	
	H31/2/23(土)	コバンモチの樹木ネット保全作業		9	
	H31/3/16(土)	鷹ノ巣高砲台跡の整備清掃活動	鷹ノ巣高砲台跡	15	
そ の 他	7/14(土)	入浜池維持管理作業②	入浜池	19	
	H31/2/16(土)	入浜池維持管理作業④	入浜池	18	
	6/16(土)	宮島 PV 研修会(環境省主催)	宮島市民センター	31	気象予報士坂本様
	9/8(土)	宮島 PV 研修会救急救命講習会	宮島市民センター	18	宮島消防署
	10/27(土)	PV 会員交流会	八幡湿原	20	日帰り
	12/8(土)	宮島 PV 自主研修会 講師：山本(昌)会員	宮島市民センター	27	

注： 行事名の付番の欠番は雨天等で中止した行事

入浜池定点観察④

・維持管理作業④

日時：2月16日(土)

場所：入浜池

参加者：岩崎 大西 大林 小川 黒木 河野
 小林(勗) 小林(み) 末原 野呂田
 檜和田 穂井田 前田 松田 村上 森
 横路 吉崎 以上 18 名

【維持管理作業】吉崎会員

水路の壁の板が外れていたので応急処置をする。全体的には海岸周辺もたくさんのゴミが溢れていた。今後も続けていく必要があるでしょう。

【植物】小林(み)会員

ほとんどが未だ眠りからまだ覚めていない。その中でもシキミやヤブツバキ、アセビが花盛り、5月ごろ咲くイワタイゲキの花が5本咲いている。タイミンタチバナも蕾です。部分的に暖かいところがあるのでこういう現象が起きるのでしょうか？ キミノシロダモの実も珍しかった。サカキカズラの実が飛んできた。冠毛が長く見栄えの良い実です。

【水質】横路会員

このところ雨が降らないので水量がかなり減っている。調査したのは2か所で後の箇所は計測不能でした。水温はA地点 6.6℃、B地点 7.9℃水深はA地点 4 cm B地点 5 cm、PHはA地点 7.9

B地点 7.2、塩分濃度はA地点 0.14%、B地点 0.14%、CODはA地点 6、B地点 6 山水側の PH は 7.9、海側 7.5

中央付近には山鳥の足跡、イノシシの足跡などが残されていた。

【野鳥】 大西会員

入浜 野鳥定点調査

種名	数	種名	数
カルガモ	2	メジロ	10
キジバト	5	ミソサザイ*4	1
カワウ *1	2	シロハラ	7
アオサギ	1	ジョウビタキ	♂1
ウミネコ	24	スズメ	10
ミサゴ	3	カワラヒワ	3
トビ	5	ルリビタキ *5	♂♀2
コゲラ	3	ホオジロ	1
ハシブトガラス	1	カシラダカ *6	1
ヤマガラ	5	ミヤマホオジロ *7	2
シジュウカラ	4	アオジ	3
ヒヨドリ	15	クロジ *8	1
ウグイス*2	5		
エナガ *3	7	計 26 種(内宮島で冬鳥 8 種)	

気付き

- * 1 入浜に移動途中に、海上を飛ぶ約 950 羽の大群を確認。
- * 2 囀りを聞いた。
- * 3 巣材運びを確認。エナガの繁殖は確かに早い。
- * 4 2月調査では3年続いて確認できた。
- * 5 入浜では初記録
(PV 調査では、当地初見)
- * 6 入浜では初記録 (")
- * 7 入浜では初記録 (")
- * 8 入浜では初記録 (")



ルリビタキ (入浜で初観察・初撮)



水質調査の準備



メジロ (花芽を啄み吸蜜か?)



池の水位が低下



集合写真



水路整備 流水なし

(写真：大西、穂井田、河野)

コバンモチの樹木ネット 保全作業(隔年)

日 時 : 2 月 23 日(土) 9:00~15:00

天 候 : 晴れ

場 所 : 広島大学宮島自然植物実験所西側の
内侍岩から大江東付近の斜面

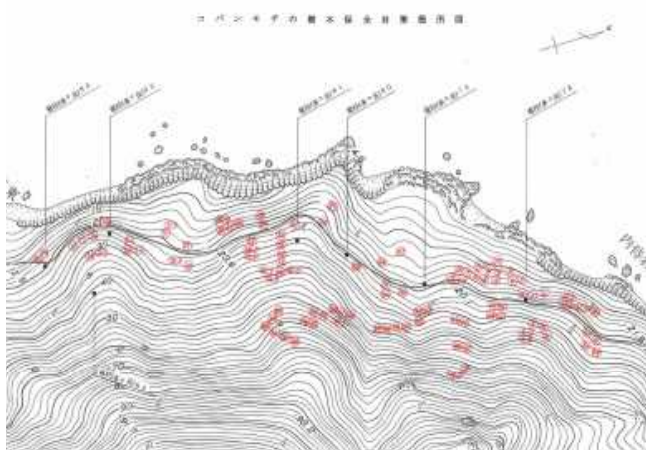
行事推進委員 : 田内 兎谷

参加者 : 麻生 岩崎 大林 河野 小林(勅)

末原 前田 森 吉崎 以上9名

環境省広島事務所 大高下AR

広島大学 坪田准教授 内田技術職員
橋本研究員



コバンモチの生育状況調査と、鹿の食害から守るため取り付けした樹木ネットの保全確認作業を広島大学と共同で実施した。この作業は2年毎に実施しており、今回でH15年以来10回目となる。(調査本数91本)

コバンモチは近畿・中国地方を北限とするホルトノキ科の南方系常緑高木で、高さ20m近くになる。樹肌がモチノキのようで、葉の形が楕円形で小判に似ていることから、「コバンモチ」と名付けられたとも言われている。葉柄は長く赤身を帯びて、裏面の側脈の付け根に赤いふくらみ(ダニの一種が寄生)がほとんどの葉にあるのが特徴。

坪田先生によると「岩国や大竹にも自生しているが、宮島北側の内侍岩から大江東付近の斜面には100本近く集中して自生しており、宮島でも他の場所ではほとんど見かけな

い。なぜここだけに集中して自生しているかは不明であるが、大変貴重なので守ってきたい。」とのことである。

9時25分に実験所前に着き、樹高計などの器材を担ぎ約30分かけて山道を移動し、現地に到着した。ここで、1班(6名)と2班(7名)に分かれ、10時から作業開始です。

私は2班で、西側の樹木番号51以降を担当した。コバンモチは山道を挟んで山側と海側の急斜面に生えており、特に身長ほどもあるシダが行く手を阻み、まさに藪漕ぎをしながら、しかも急傾斜での作業です。作業内容は、①生育状況確認、②樹木ネットの状況確認・調整、③番号札の清掃・付け替え・番号の書き直し、④樹径(幹周)・樹高の計測、⑤新発見木に対する①~④の作業です。特に、樹高の計測は樹高計を操作する人、山の上側から樹高計の先端を確認する人の2名で行うため、大変でかなりの時間を要した。全ての作業が終了したのが、昼食時間を過ぎ13時10分であった。

昼食後山道を引き返し、実験所前に14時15分に着いた。ここで、終了の挨拶・打ち合わせを行い、解散した。

私はこの木について全く知らず、見たこともなかった。今回初めて参加して、状況を理解することができた。幹周り145cm、樹高19mの大樹もあり、樹齢50年以上と推定される木も多数あり、驚きでした。鹿の食害が数本に見られたが、全般的に生育状況は良好でした。根元付近の一部が枯れている大木が数多くみられ、樹木ネットを設置したH15年より前に鹿の食害にあった跡と推察されるが、現在は枯れることもなく樹勢を回復し良好であり、樹木ネットの効果を目の当たりにし感動の日でした。

H15年から樹木ネットの設置・保全を行ってきた広島大学とPV会員の皆さんに拍手を送りたいと思います。今後も参加していきたい。



現地での作業開始前ミーティング



標高最高地点でのネット調整
(樹木番号：81)



新発見の若木です (樹木番号：79-1)



鹿の食害跡が残る木での樹高計測と番号札
取り付け (樹木番号：44)



藪漕ぎの中での樹木探索 (樹木番号：56)



作業を終え、遅い昼食です

(文・写真： 河野)

自主観察会(9)町石調査 (大聖院～奥の院)

日時： 3月2日(土) 9:00～16:00

参加者：猪谷 岩崎 黒木 河野 末原 前田

増田 森 山本(昌)横路 以上 10名

行事推進員：黒木 増田

コース： 紅葉谷起点道標～大聖院参道～

仁王門～奥の院～仁王門～

大元道起点道標

内容 ① 町石の現状確認、保全作業

② 失われた町石の探索

③ 町石の謎の解明



奥の院町石前での集合写真(河野)

弥山登山は正確には数えていませんが 250 回以上にはなります。今回町石調査に参加して いかに弥山音痴であったか知りました。弥山頂上にある「24丁」の町石も富士山にある 10 合目のような高さの目安と思っていました。ところが 1丁は 109m、歩測で 180 歩の山頂までの距離を表す正確な道標だったのです。公園で自分の歩幅調査を行い 60 cmであることを確認しました。弥山町石一覧図を手にとって歩いてみたいと思います。

起点道標という言葉も初めて知りました。大聖院登山口、紅葉谷登山口に石碑があり文字が書かれていることはなんとなく知っていましたが、「御山頂上 廿四丁四間」「御山道頂上へ二十四丁半」「御山道 御山頂上へ

二十九丁」とはっきり読んだのは初めてです。また資料に『町石とは山上にある寺社への参詣道に 1 丁ごとに設置した石造物であるが単に距離を示すものではなく 1 丁登るごとに聖地に近づく聖なる石でもある』解かりやすい良くてきた資料いただきました。

三鬼さんを厚く信仰していた伊藤博文公は弥山頂上の 18 丁・24 丁・29 丁とあった数字を 24 丁に整備して判りやすい表示にしました。信仰だけでなく観光にも力を注ぎ、新しい時代のリーダーに宮島を仕立て上げようとしたのでしょう。「日本三景の一の真価は弥山頂上の眺めにあり」

町石の謎解き-----『奥の院は 31 丁か 28 丁か』、全員で文字を指でなぞってみたり 近くで見たり離れて見たり、横棒が三本にみえて 31 丁のような、髭の八は 28 丁のような文字がやや斜めに有るなど様々な意見が出ました。奥の院道 24 丁からほぼ一丁間隔に 25・26・27 となれば最後は 28 丁が正しいとおもいます。それと登り 18 丁の江戸時代は下り仁王門が 21 丁そこから 809m、7 丁を足して 28 丁が奥の院参詣道であった。何れもパークボランティアの見解は的をえていると思います。



奥の院町石拡大写真(河野)



奥の院二十七丁町石の点検作業(岩崎)

大元道は仁王門 23 町で終わっています。24 町から頂上 29 町にすれば納得しますが町石はありません。そこで 23 町に奥の院までの距離を加えて最終地点を 31 になるように横棒一をくわえ 31 丁にした。都合の良い解釈もできますが【笑い】

遊女の石畳-----来世には幸せになりたいと祈りを込めて寄進した遊女信仰の石畳は 丁寧に新道に移設されたのは さすがです、ほっとします。奉寄進石碑が石畳を引き立てています。「満願地藏尊」「白髭大明神」の衣が真新しいのは希望が持てるように感じました。



遊女石畳(河野)

9 時から 16 時までの長い調査でしたが大変興味がわきました。立派な町石調査研究実績を一般公募観察会活動に加えて楽しい謎解き弥山登山企画を期待します。

(文：増田 、写真：河野、岩崎)

《町石調査 記録》

- ① 49 基の町石と 3 基の起点石碑を確認する。
 - ・大聖院道(大聖院起点～仁王門) 19 基(慶長江戸初期 2・元文 4・明治 13) ・奥の院道(仁王門～奥の院) 8 基(江戸初期 8)
 - ・大元道(仁王門～大元公園起点) 22 基(内江戸初期 1 基)
- ② 町石の保全状況
 - ・大聖院道：元文十五丁町石は最近立て直されていた。 ・大元道：五町町石は亀裂が進んでいる。 ・大元道：十九、二十町石は傾きが大きいものの倒壊の恐れはない。

《考察》

奥の院町石は 参加会員の現地検分により 28 丁とも読めるが 31 丁との見解が有力であった。上記の増田説のほか 後世の書き換え説(河野説)など 新見解続出で謎が深まるばかり。 奥の院が何丁であったかを示す文献か地図を発見して解決したい。

町石調査第二弾は 11 月 30 日(土)に実施します。今回調査で見えていない紅葉谷道から弥山山頂付近の町石を探索する予定です。

(文：岩崎)

鷹ノ巣高砲台跡地 清掃・整備作業

日 時： 3 月 16 日(土) 9:00～14:00

参加者： 麻生 岩崎 小川 恩田 黒木 河野
小林(勅) 佐藤 末原 中道 檜和田
前田 村上 森 吉崎 以上 15 名

行事推進員：檜和田、三戸

最後に鷹ノ巣砲台の作業をしたのは何時だったのでしょうか。以前は 5 月ぐらいに行っていたのが 3 月に代わり、予定がいっぱいで参加できませんでした。今年奇跡的に予定がキャンセルとなり、久しぶりに参加できると思ったら前日から雨。気象条件は、朝 6 時の NHK の天気予報は 50%で中止とのこと。しかし、私は 6 時まで家にいると集合時間に間に合いません。当然見切り発車になります。そんな中行われた作業。現地に着いて思った

のは、5月だと草が茂って大変だった記憶がありましたので、何となく違うところに来たように感じました。以前参加した時、急な階段から滑り落ちてズボンバリバリに破れ、帰りのフェリーで恥ずかしかったのを思い出しました。足を悪くして以来、作業が思うようにはいきませんが、やはり汗をかいた後は清々しいですね。環境整備部会としては今年度最後の作業、参加出来て本当に良かったです。 恩田 浩幸 (感想)

砲台跡の上の部分での作業について

恩田さんは砲台跡の上の方には行けなかったもので、上の場所の作業について報告します。



上の観測台跡に続く階段の清掃には初め 8 人が行くことになっていましたが、実際には小林・佐藤・前田会員の御三方で作業されて、ご苦労様でした。写真の通りきれいになっています。



砲台跡や石段には倒木や枯葉がうず高く積もっていましたが、きれいにしました。



砲台跡にも枯葉が積もっていましたが、石段ほどひどくはありませんでした。

また倒木があったので、末原会員のチェーンソーが大活躍して、全て片付けました。



観測台跡には松葉が沢山積もっていましたが、きれいにすることができました。

この周辺の大きな枯木 2 本も危険ということで取り除き、すっきりしました。

全体として鷹ノ巣砲台跡に行く途中から、羊歯の繁茂が著しい場所ではエンジン付きの草刈り機が大活躍で、初めから終わりまで担当された森さんご苦労様でした。

おかげで、海軍の石碑や頂上部分の道などもきれいになりよくわかるようになりました。

今回、倒木や枯木の除去にはチェーンソーが活躍し、羊歯の除去には草刈り機が活躍しましたが、どちらも 1 人しか扱えないようなので、今後は負担軽減のためにも、2~3 人が使えるように出来たら良いと思います。



(文：吉崎 、写真：吉崎 河野)

鷹の巣砲台清掃

平成 31 年 3 月 16 日

- ・ ものの芽や山^く削り抜きし砲台^し址
- ・ 赤煉瓦^はの美しき砲台ひこばゆる
- ・ チェーンソーの音にだんまり^{ももちどり}百千鳥
- ・ 砲台を囲む昼餉や桜まじ
- ・ 上向きの椿^めを愛^{おきな}でる 翁 かな

黒木 隆信

宮島学園卒業記念 植樹作業協力(獅子岩)

月 日：3 月 18 日 (月)

参加者 大西 大林 河野 小林(昴) 佐渡
佐藤 末原 兎谷 中道 増田 村上 森
横路 以上 13 名



集合写真

本年 3 月 20 日に宮島学園を卒業する 9 年生 18 名が、広島森林管理署体験植樹として宮島ロープウェー獅子岩駅周辺の植生を復元させるため、生徒及び学園関係者、広島森林管理署、当会会員 13 名他協力団体を含めた 58 名が参加し、苗木 20 本を植樹しました。

この記念植樹は、今回が 3 回目で種蒔きから植栽まで、広島大学宮島自然植物実験所坪田准教授の指導で行われています。今回の苗木は、7 年生時に宮島の山で拾った種を宮島学園で育ててきた、樹高 30 c m ~ 50 c m の苗木を植えました。

当日は、宮島学園に集合し苗木、植込み資材、腐葉土、鹿用防護網等を車両と宮島ロープウェーで運び植樹となりました。生徒達が直径 30cm、深さ 30cm の穴を掘り、土と腐葉土と混ぜた後に苗木の植付け、水やり、鹿用防護網を取付けて終了です。

私たち協力員は、作業の見守り及び手助け

をすることでしたが、生徒の作業が手馴れないため、思わず手を出してしまう状況でした。今後も、この記念植樹を継続するそうです。引続き作業の手助けと樹木の成長と植生の復元を見守って行きたいと思います。

今回の植樹本数

樹 種	本 数	樹 種	本 数
アカガシ	8 本	アラカシ	6 本
ウリハダカエデ	2 本	クスドイゲ	1 本
シロダモ	1 本	ツクバネガシ	2 本



植樹(1)



植樹(2)



植樹(3)

(文 : 末原 写真 : 河野、内田様)

自主観察会(1) 入浜池補足調査①

日 時 : 4 月 13 日 (土) 13:30~15:00

天気 : 曇り

場 所 : 入浜池

参加者 : 大西 小川 黒木 小林(勗) 小林(み)

穂井田 前田 松田 山本(章) 横路

以上 10 名

【植物】小林(み) 会員

花盛りで美しい物 ヤブツバキ、イワタイゲキ、サルトリイバラ、ヤマザクラ、ザイフリボク、コバノミツバツツジ。芽生えの美しい物 クスノキ、ヤマザクラ、ヤマイバラ、シロダモ、イロハモミジ等。

【水質】横路 会員

水温は A 地点 19.4℃ B 地点 19.2℃ 中央 20.1℃ D 地点 21.3℃ E 地点 17.4℃ F 地点 20.2℃ 水深は A 地点 10 cm B 地点 20 cm 中央 8 cm D 地点 5cm E 地点 4 cm F 地点 5 cm 塩分濃度は A 地点 0.01% B 地点 0.01% 中央、D 地点 0.00% E 地点 0.02% F 地点 0.01% 最近では海水が入っていない様子です。

COD はどの地点も 8 以上でした。

山水は水温 9.6℃ 塩分濃度 0.00% 海水は水温 14.2℃ 塩分濃度 2.98%

PH は故障のため計測できなかった。

水路の流量は超微量のため計測しなかった。

【野鳥】大西 会員

4 月の楽しみは、渡りの開始を垣間見ることができるかどうか。

冬鳥が北へ帰り、夏鳥が南からやって来る。その渡り途中にちょっと立ち寄ってくれる小鳥たちが、入浜を利用しているかもしれない。いつも期待いっぱい散策を開始します。

今年もいました！ノビタキの♂♀がすっかり夏の装いで、ヒトモトススキや松の木などで飛び交っていました。

なんと嬉しいことか。冬鳥のジョウビタキ 1

羽とアオジ 1 羽がまだ残っていました。

そして、夏鳥のオオルリ♂が、穂井田会員によって発見されました。すっかり常連になってくれたコチドリ 2 羽が、今年も浜の水際で忙しそうに採食していました。繁殖が成功しますように！

留鳥、冬鳥、夏鳥、旅鳥、各種に合うことができました（^：^）。ただし、ウグイスやホオジロの姿がなかったが、繁殖期に入り、巣作りのためわずかに移動しているのかもしれない。

入浜 野鳥定点調査 13:30～15:30

種名	数	種名	数
カルガモ * 1	2	メジロ	3
キジバト	2	シロハラ	3
アオサギ	1	オオルリ	♂1
ウミネコ	2	ジョウビタキ	♀1
ミサゴ	2	ノビタキ	♂1♀2
トビ	10	スズメ	5
コゲラ	1	セグロセキレイ	1
モズ	1	カワラヒワ	2
ハシボソガラス	2	アオジ	♀1
シジュウカラ	4	計 20 種	
コチドリ	2		
ヒヨドリ	100 羽と 20 羽の 群れ		
宮島における区分（宮島町発行の野鳥を参考）			
冬鳥 旅鳥 夏鳥			

◇気付き

* 1 池の上を 2 羽で飛び回っていたが、私たちがいるため、下りることができなかったようだ。我々が調査終了後には、きっと池に下りたと思われる。池の中のヒトモトススキの株で繁殖できないものだろうか？



コチドリ 入浜 1 年ぶり（大西）



ノビタキ♀（穂井田）



ノビタキ♂（穂井田）

＊ 季節を先取り ＊

「イワタイゲキ」の花



立春を過ぎたとは言え、冷たい風の残る2月中旬の“入浜定期観察・整備”の日に、白砂の広がる浜の東端近くで、5本の「イワタイゲキ」が咲いているのが見られた。

「イワタイゲキ」は室浜や腰細浦で群生地が見られるものの、『絶滅危惧種』に指定されている。最近、宮島の浦々でも見かけられるようになり、僅かではあるが生息域を拡げて来ているのであろうか。

作業後は、南向きの岩壁を背にした場所で食事を取り、暖かさを先取りした「イワタイゲキ」を見ながら、和やかなひと時を過ごした。

(2019. 2.13 横路)

小なきり海岸の植物

・生物調査と海岸清掃

日 時：4月13日(土)13:30～14:30

場 所：小なきり海岸

参加者：麻生 猪谷 今田 岩崎 金山 川崎

北野 河野 佐渡 佐藤 嶋谷 末原

田内 兎谷 中道 野呂田 平田 檜和田

増田 舩田 村上 森 吉崎 以上23名

環境省：山崎自然保護官、大高下 AR

総会終了後、小なきり海岸清掃作業を行いました。漂着ゴミは、流木、缶、ペットボトル、牡蠣パイプ等がありましたが、参加者多数であったこと、また14時からのカープの試合を観たさで一致協力し1時間程で作業を終了しました。収集したゴミの量は、100kg程でした。



流木&流竹なども片付けすっきり

(文：今田 写真：麻生)

清掃登山(大砂利地蔵)

日 時：4月20日(土) 9:00～14:00

場 所：大砂利地蔵

行事推進員：今田 佐藤

参加者：今田 岩崎 河野 佐藤 末原 前田

山本(章)横路 以上8名

栈橋から博奕尾、大砂利地蔵、鷹ノ巣砲台踏破、感動しました。

大砂利地蔵には数回の体験があり、そこから鷹ノ巣は初体験。初めてのコース、先入観なしで体験したいと、森会員の素晴らしい体

験記はポケットの中に仕舞い、体当たりの登山にさせて頂きましたが失敗しました。

地藏・大休み・包山 309m、初めて聞く山です。山頂で昼食後、ここからの鷹ノ巣山 188mへの砂地の下りのきついこと。推進員にもかかわらず登山靴の紐の締め直しの注意もせず、左足親指の爪は真っ黒で剥がれそうでした。

途中、松の木の頂上にミサゴの親鳥と巣を見つけました。先を急ぎたいと双眼鏡だすのは諦めました。

1時半頃、包ヶ浦着。解散。

又、挑戦したいです。皆さんお世話になりました。楽しい登山でした。



集合写真



松の木の頂上にミサゴの巣



入浜池全景

(文：佐藤 写真：河野)

自主観察会(2)

公募観察会下見 鷹ノ巣高砲台

日 時：5月11日(土)

天 候：晴れ

参加者：岩崎 北野 河野 小林(勗) 小林(み)
末原 野呂田 前田 山本(章) 山本(昌)
横路 以上11名

5月25日の公募観察会(鷹ノ巣高砲台跡を訪ねて)の下見を行う。9:50分包ヶ浦自然公園管理センターを出発。当日、自然観察のリーダーをお願いしている北野さん、山本(昌)さんは樹木名のチェックをしながら、他の会員の方は歩道の安全をチェックしながら歩く。11:50 方位観測所に到着し昼食としました。観測所の台周りにマムシがいました。当日はよく注意をしなくてははいけません。



(文：小林(勗) 写真：河野)

*** 交流活動 ***

廿日市市 市民活動センターまつり

日 時：3 月3 日(日) 10:00～15:00

場 所：市民活動センター

(廿日市市住吉2 丁目)

参加者： 末原 村上 岩崎

宮島PVの会も登録している廿日市市市民活動センター運営協議会主催の14回目となる「市民活動センターまつり2019」が、廿日市市住吉の同センターで開催された。ここは廿日市市の市民団体を支援し、まちづくりの拠点となっている。

加盟 155 の会員団体の日頃の活動が 写真やイラストでパネル紹介されていて、宮島 PV の会の活動状況も一年間、センター内の壁面に掲示されることになっている。これらを見ていると 自然環境保護だけでなく、国際交流や文化活動など地域コミュニティの活動にさまざまなアプローチの仕方で多くの市民が参画していることが実感でき、宮島 PV の会の活動を考えるよい刺激になった。

会場は「つどい・しりあい・つながろう」をテーマに日ごろの活動を発表、交流と出合いの場としていて、ステージでは廿日市小学校和太鼓の演奏や様々な発表が行われていた。

お楽しみ抽選会には 当会も宮島にちなむ景品を提供していて喜ばれている。まさに 手作り感いっぱいの楽しいイベントであった。



宮島 PV の会の活動状況展示ポスター



廿日市小学校和太鼓の演奏

(文・写真：岩崎)

◇ 編 集 後 記 ◇

みせん 76 号は平成から令和へ変わって初めての発行です。気持ち新たに編集したいと思います。(麻生)

瀬戸内海国立公園 宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所

(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀 6 番 30 号

広島合同庁舎 3 号館 1 階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455